

《研究課題名》

ヒト皮膚における炎症性因子・抗炎症性因子の加齢性変化の解明

《研究対象者》

2010年4月1日から2024年5月31日に、滋賀医科大学皮膚科で皮膚生検、手術を施行されている方。

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の診療用に採取された生検標本と電子カルテの情報をを用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。試料・情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への試料・情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（8）の問い合わせ先へご連絡ください。

（1）研究の概要について

《研究期間》 倫理審査室許可日～西暦2029年3月31日

《研究責任者》 滋賀医科大学 皮膚科学講座 生野泰彬

（2）研究の意義、目的について

《意義》

皮膚老化は外見上の変化により Quality Of Life を下げるだけでなく、自己免疫疾患や皮膚がんの原因にもなるため、その克服は喫緊の課題です。老化と慢性炎症の関連性が明らかにされつつあり、皮膚においても炎症老化が注目されています。しかし、どのような種類の炎症が加齢性に皮膚で生じているのか、慢性炎症により老化が促進される分子メカニズムは不明です。

本研究で、加齢によって変化する炎症経路および抗炎症性因子を明らかにすることで、皮膚老化に重要な因子を同定し、皮膚老化に対する新たな治療戦略を立てることが期待できます。

《目的》

すでに採取されたヒト皮膚の生検・切除サンプルを用いて、さまざまな炎症経路および抗炎症作用のあるグルココルチコイド制御因子の加齢性変化を明らかにすることを目的とします。

（3）研究の方法について

《研究の内容》

各年代（20代、30代、40代、50代、60代、70代、80代、90代）における、診断確定、病態評価など臨床上の必要性から皮膚生検・手術が行われ、病理検査部に保管されているサンプルのパラフィンブロックを薄切します。薄切した検体における炎症性サイトカイン（IL4, IL5, IL12, IL13, IL17, IL22, IL23, IL25, IL31, IL33, TSLP, IFN, TNF）、炎症細胞マーカー（CD3, CD4, CD8,

オプアウト

CD86, CD206, TBET, GATA3)、炎症細胞の分化誘導にかかわるタンパク質 (Chi3I1) およびグルココルチコイド制御因子 [11β-Hydroxysteroid dehydrogenase 1 (11bHsd1), 11bHsd2, 5β-reductase, 3aHSD]の発現を、免疫組織学染色を施行し標本中の正常皮膚部で定量化し、比較検討します。

また、電子カルテからそれぞれの症例における性別・年齢・病歴・既往歴・内服歴・患部の写真(ただし、顔は含まない)・採血検査結果・画像検査結果 (CT、MRI) の患者情報を収集します。個人を識別できる個人情報は患者番号を付与し、匿名化を行います。

《利用し、又は提供する試料・情報の項目》

患者様の性別・年齢・病歴・既往歴・内服歴・患部の写真(ただし、顔は含まない)・採血検査結果・画像検査結果 (CT、MRI) の情報を利用させていただきます。また、過去に採取された生検サンプルを用いて得た、炎症性サイトカイン (IL-4, IL-5, IL-12, IL-13, IL-17, IL-22, IL-23, IL-25, IL-31, IL-33, TSLP, IFN-γ, TNF-α) 炎症細胞マーカー (CD3, CD4, CD8, CD86, CD206, T-BET, GATA-3) 炎症細胞の分化誘導にかかわる因子 (Chi3I1) およびグルココルチコイド制御因子 [11β-Hydroxysteroid dehydrogenase 1 (11bHsd1), 11bHsd2, 5β-reductase, 3aHSD]の発現の情報を利用させていただきます。

《試料・情報の管理について責任を有する者》

国立大学法人 滋賀医科大学 学長 上本 伸二

(4) 個人情報等の取扱いについて

本研究を実施する際には、あなたの試料・情報から、あなたを特定できる情報(氏名、生年月日、住所等)を除き、代わりに本研究用のIDを付けることで、その試料・情報が誰のものであるか分からない状態にします。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、あなたとIDを結び付けることができるような加工をした情報を残します。尚、加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

(5) 研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

(7) 利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の試料・情報を本研究に利用(又は他の研究に提供)することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記(8)にご連絡ください。

オプトアウト

(8) 本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学 皮膚科学講座 生野泰彬

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2233

メールアドレス：hqderma@belle.shiga-med.ac.jp